

# MAEBASHI FOCUS

## 国際交流員 (CIR) ニュースレター

皆さん、ハウディ!

今月は、前橋市消防局の消防士の皆さんを対象に英語講座を担当する機会をいただきました。また、私が日本に来るきっかけとなったJETプログラムの新規参加者を対象とした「2026年度群馬オリエンテーション」の企画委員としても活動しています。企画委員会は群馬県内のJET参加者で構成されており、新しく群馬で生活を始める方々が安心して新生活をスタートできるようサポートすることを目的としています。オリエンテーションでは、運転、税金、買い物、日本でのマナーなど幅広い内容を扱いますが、私は「日本語学習」「群馬の楽しみ方」「CIRの仕事」について発表を担当する予定です

まずは消防局での英語講座についてお話しします。来日前、前任者から「いつか前橋市消防局の皆さんに英語を教える機会があるよ」と聞いていましたが、その機会が今月ついに訪れました。私は英語を教えた経験がほとんどないため、最初は少し緊張していました。しかし、前任者が残してくださった充実した教材のおかげで、消防士の皆さんにとって興味深く、実践的な内容の授業を準備することができました。

今回の受講者は、ベテラン消防士6名でした。自己紹介を終えると、すぐに授業を始めました。授業を終えて一番感じたのは、毎日教壇に立っている先生方やALTの皆さんへの尊敬の気持ちです。授業自体はうまくいったと思いますが、それでも内容を分かりやすく伝えながら、全員の興味を引き続けることの難しさを身をもって実感しました。

今後も前橋市消防局の皆さんが、国内外で住民の方や外国人の方々を支援する際に役立つ実践的な英語力を身につけられるよう、お手伝いしていければと思っています。



次に、JETプログラムの「2026年度群馬オリエンテーション企画委員会」についてお話しします。私たちの目標は、新しく群馬に来るJET参加者が地域の文化や生活に関する手続き、そして群馬の魅力を知り、新生活を安心して始められるようサポートすることです。

2日間にわたる研修を運営するには、さまざまな準備が必要です。各講義の構成や時間配分はもちろん、



前橋市消防局

案内用の紙の掲示物をいつ設置・撤去するかといった細かいことまで、一つひとつ計画しなければなりません。私は「CIRの仕事」「群馬の楽しみ方」「日本語の勉強法」の3つの講義を担当します。

CIRについての講義と群馬の魅力を紹介する講義は比較的スムーズに作成できましたが、日本語学習についての講義は予想以上に難しいものでした。大学時代には日本語を教えていた経験がありますし、自分が日本語初心者だった頃のことも覚えています。しかし、自分自身の日本語力が向上するにつれて、初心者の視点で日本語を考えることが以前より難しくなっていることに気づきました。昔は意識して考えていたことが、今では自然にできるようになっているからです。

そのため、最初に作った資料は、初心者向けというより大学の講義のような内容になってしまいました。幸い、一緒に発表を担当するALTの先生がその点を指摘してくださり、授業経験を生かした貴重なアドバイスをいただきました。そのおかげで、より親しみやすく、実践的な内容へと改善することができました。

完成した資料にはとても満足しています。自分が日本語を学び始めた頃に「こんなガイドがあればよかった」と思えるような内容になったと感じています。そして、この資料作りを通して学んだことを、今後の消防士向け英語講座にも生かしていきたいと思っています。

全体を振り返ると、6月はとても充実した一か月となりました。この一か月で得た経験を、これからの業務やさまざまなプロジェクトに生かし、さらに成長していきたいと思っています。



去年のオリエンテーション